

南紀白浜空港における横田基地所属CV-22オスプレイの予防着陸について
(要請)

令和4年10月21日に北関東防衛局から、「10月20日午後10時45分頃、横田基地所属のCV-22オスプレイ1機が飛行中、コックピットの警告表示を受け、和歌山県の南紀白浜空港に予防着陸を行った。当該機は軽微なセンサーの不具合が生じたため、修理を実施し、10月21日午前6時頃に南紀白浜空港を離陸した。今回の着陸による部外への人的・物的被害、民間機への影響は確認されていない。」との情報が、東京都及び基地周辺自治体に提供された。

飛行中の機体のトラブル発生は、人命に関わる重大な事故につながりかねず、多くの住民に不安を与えるものである。

特に、CV-22オスプレイについては、米空軍が、本年8月16日（米国時間）に、クラッチを原因とする特有の現象が過去6週間のうちに2回発生したことを契機として、当面の間、全機の地上待機措置をとることを決定した。その後、様々な任務における運用手順の確認、搭乗員に対する教育・訓練内容の追加、機体点検等を継続的に行うことにより、飛行の安全が確保できることが確認されたとして、9月2日（米国時間）、地上待機措置が解除されたところである。

当協議会から、9月4日に安全確保の徹底等について改めて要請しており、それから間もない中であって、このような事態が発生したことは、極めて遺憾である。

については、下記のとおり、要請する。

記

- 1 予防着陸に至る経緯を明らかにするとともに、不具合の原因究明を行い、再発防止の徹底を図ること。
- 2 横田基地所属航空機の点検整備を強化するとともに、安全が確認されるまでの間、CV-22オスプレイの飛行を中止し、安全確保の徹底を図ること。
- 3 以上に関する情報を関係自治体に速やかに提供すること。

令和4年10月24日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官
アンドリュー L. ラダン大佐 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会 長	東京都知事	小 池	百合子
副会長	瑞穂町長	杉 浦	裕之
	立川市長	清 水	庄平
	昭島市長	臼 井	伸介
	福生市長	加 藤	育男
	武蔵村山市長	山 崎	泰大
	羽村市長	橋 本	弘山